



ひまわり



第16回 福祉の絵手紙 優秀賞受賞作品 森下 啓子 様

- 2 連載●40周年特別企画
40年前、あの日あの時
各施設夏祭りについて
- 3 牧野講師のミンダナオレポートvol.9
- 4 連載vol.43●[記録に残したい記憶]
～貴重な体験を語り継ぐ～
- 5 ▶ 8 各施設トピックス
- 9 ▶ 10 福寿園ニュース
- 11 連載●外国人介護士
リレーインタビュー
連載●ボランティアさんいつも
ありがとうございます
連載●New ひまわりギャラリー
- 12 第17回福祉の絵手紙作品募集



152号

令和2年7月10日

1980年 40年前、あの日あの時

福寿園が
生まれた年の
できごと

今から40年前の昭和55(1980)年5月、福寿園は創立しました。
その年にどんな出来事があったのか、写真とともに振り返ってみましょう。

竹の子族、ホコ天で踊る



この年の初め頃、東京・原宿竹下通りのブティック「竹の子」の奇抜な衣装に身を包み、ユニークなメイクをした若者たちが代々木公園横の歩行者天国に出現し、デイスコ音楽に合わせてみんなで踊りました。これが「竹の子族」の始まりといわれています。最盛期には50チーム2000人、ギャラリィは10万人近くにふくれ上がりしました。このブームは全国の地方都市にも広がり、豊橋でも日曜日になると広小路のホコ天で若者たちが踊る光景が見られました。街頭や路上で若者グループがダンスパフォーマンスをするようになった、その先駆的な社会現象です。



令和2年度 各施設夏祭りについて

例年7月下旬から8月にかけて、ご家族や地域の皆様、ボランティアの皆様など、多くの方にご来園いただき、各施設で夏祭りを開催させていただいておりましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、入居者の皆さんと職員のみで、規模を縮小して夏祭りの行事を行うことといたしました。実施にあたっては、三密を避けるなどコロナ対策を万全にして行う予定です。各施設で趣向を凝らし、このような状況下においても皆さんに夏の一夜を少しでも楽しんでいただければと思っております。楽しみにしていただいております皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

牧野講師の ミンダナオ レポート Vol.9 新型コロナウイルス騒動の中 —ダバオでの生活—



福寿園では将来の人材確保対策として、フィリピンのミンダナオ国際大学と協定を締結し、大学内で日本語教室を独自に開設しています。法人からも牧野講師を派遣し、日々、悪戦苦闘しながらも、授業をしているその様子をレポートいたします。

GCQ(一般的なコミュニケーション隔離)の最中、2ヶ月ぶりにミンダナオ国際大学に通勤しました。学長から5月26日に大学に来るようとの連絡があったからです。当日、久しぶりに会った教職員のみなさんとは、本来であればハグするところですが、距離を置いて挨拶するのみでした。午後からのミーティングで学長から今後の出勤は、週3日ずつ交代で来るようにということと、部署ごとに半数ずつのグループに分けられました。大学再開は8月24日(この日から新学期になるため、進級、入学の手続きはその2カ月前から行う)とのこと。対面授業ができるかどうかは、その時の感染状況によるといっていいでしょう。学校再開に向け、オンライン授業の準備もしておくようにとの指示。福寿園プログラム第5期生も3月中旬から休校せざるをえなくなり、学生たちは皆、自宅に戻りました。昨年の7月から勉強してきた日本語を忘れな

いようにと思い、読解、文字・語彙の課題をスマホで送り、返送させるといって続けました。6月からは、オンライン授業を始め、復習を中心に勉強しています。オンラインに使うアプリは学生から提案があり、機器操作苦手な私にも分かるようにということ、ほとんど学生がセッティングしてくれました。オンライン授業に慣れるために、事前に課題を出し、授業の中で学生が答えるといって形をとっています。こちらは通信事情が悪く、途中で画面や音声がかたったり、全くつながらなくなったりの連続ですが、久しぶりの日本語でのやりとりが楽しいとの感想には励まされました。



フードメディスンパス



忘れたら勉強してきた日本語を忘れな

GCQになる前はECQという一段と厳しい措置が出されてきました。外出はフード・メディスンパス持参、それも奇数番号は月・水・金、偶数番号は火・木・土に、食べ物や薬を買う時のみ外出できるというものでした。それ午後6時



大学の入り口で検温。マスクは手作り

6月10日、特養の稲穂みのりユニット、青空そよ風ユニットにてデザートバイキングを行いました。昨年好評だったおはぎやとろこだけだけでなく、南瓜巾着、チーズケーキ、ロールケーキなどを並べ、どの食事形態の方にも選んでもらえるようにしました。始まる前から色とりどりのデザートを見て、皆さん興味深々。「どれにしようかな」と笑顔で選ばれていました。「おいしいよ」との声もたくさん聞かえ、笑顔で溢れるにぎやかなおやつ時間となりました。

今回の企画は、ユニットへの出前料理です。皆さんの目の前で揚げた、熱々天ぷらをご賞味いただく予定です。

東海福寿園
デザートバイキング



豊田福寿園
「3密」避けて「3カイ」を！
新型コロナウイルスの流行で、自粛ムードに気持ちも落ち込み気味ですが、そんな気持ちに負けないよう「3つのカイ」を実施しました！
「快適」に過ごせるよう芝生広場を「開放」し、ベンチや縁台を設置して入居者や職員のくつろぎスペースを。休憩時にはキャッチボールやパレーで体を動かし、ストレス解消をする職員。入居者の方もたくさん外に出て、お茶を飲んだり散歩に出たりと新緑の爽やかな季節を満喫し、塞ぎ込みがちな気持ちを「解放」できました。

くすのきの里 居酒屋
5月27日、特養のやまもも・しらかばユニットにて居酒屋を開催しました。本日のおすすめメニューは、施設長補佐が焼く鉄板焼き！鶏ちゃんとお好み焼きです。鉄板焼きをおつまみにビールがよく進み、皆さん思い思いに話しながら、楽しいひと時を過ごしました。盛り上がった



ところでカラオケがスタート。終始大盛り上がりで笑顔も溢れ、「とても楽しかったよ、またやってね！」と嬉しい言葉をいただきました。



あじさいを地域の皆さんにも観ていただけたら嬉しいです。

ケアハウスパシフィック
あじさいが咲きました！

今年パシフィックに沢山のあじさいが咲きました。天気の良い日に入居者の方々とお庭でお茶を飲みながら、一緒にあじさいを楽しみました。
「沢山咲いてるね」「キレイだねえ」「外であじさいを観ながら食べるのもいいね」などと話しながら、ティータイムを過ごしました。パシフィックでは毎年「あじさいフェア」を開催しています。今年はコロナの関係で開催できませんが、入居者の方々は散策されたりと、様々に楽しんでいただいています。来年はキレイな

連載 43

記録に残したい記憶
～貴重な体験を語り継ぐ～

貴重な体験を次世代へ伝えていくため「記録に残したい記憶」として、ひとりの方にスポットをあてて体験談を、ご紹介していきます。



ます。子どものときは、楽しみという楽しみはありませんでした。両親の畑のお手伝いで毎日大変でしたが、両親と毎日一緒にいられて嬉しかったのを覚えています。

戦後は、新聞配達や和装、清掃と、いろいろな仕事をやりましたが、どの仕事も楽しかったです。この時に覚えた和裁は、今でも私の主になっており、友人や近所の人に頼まれれば着物を作っていました。清掃の仕事は、阪九フェリーの清掃作業が楽しくて仕方なく、この時に今の主人と知り合い結婚をしました。仕事は続け、この清掃会社には20年近くも勤めさせていただきました。

仕事も辞めて60代前半ごろに老人会に入りました。出かけることが好きだった私は、老人会の友人たちと



の旅行が楽しみとなり、頻繁に友人たちと旅行へ出かけていました。70歳になると、主人に先立たれた私を息子（次男）が住んでいた豊田市に呼んでくれました。豊田市に来てからも老人クラブに入り、旅行やカラオケなど楽しい日々を過ごしました。4年ほど前から、ひまわりの街で



尾崎 スミヲ
(ひまわりの街)

プロフィール

生年月日…大正7年4月12日
年齢…102歳
出身地…福岡県八女市
好きなこと…笑顔、たくさんしゃべる



お世話になっていきます。若い頃から働き、苦労してきた日々のように感じますが、私は苦労した以上に、人に恵まれてきたと思っています。出会ってきた人々には、本当に感謝しています。気づけば100歳も過ぎましたが、今もこれからはたくさん笑って、たくさん食べて毎日をごしていきま。

田原福寿園

お好み焼きランチに大満足!!

外は雨の日が多くなってきて、どんよりした日が続きますが、南館では各ユニットでお好み焼きパーティを行いました。厨房職員が目の前でふっくらとおいしく焼き上げ、ついつい手を伸ばしたくなります。やっぱり焼き立ては別格!! 一つの間に3枚くらいペロリと食べてしまいました。「おいしかったね」と、皆さん大満足。室内での過ごし方も少しの工夫でも楽しい時間になりました。



ちた福寿園
ベンチの寄贈



ちた福寿園では、広い敷地を散歩するのに、休憩場所が欲しいとかねてより多くの方からお声をいただいていた。そこで、今回家族会の皆様に相談したところ、家族会から立派なベンチを寄贈していただきました。ベンチは敷地内に2か所設置し、散歩をされる入居者の方がゆっくり休み、談笑ができるようになりました。今まで休憩場所がなかったことで、散歩が負担だった方もご自分のペースで散歩ができるようになりました。このベンチは、職員でしっかり管理し、皆さんの生活がますます豊かになるよう支援していきます。家族会の皆様ありがとうございました。

ひまわりの街デイサービス
玄関を華やかに

予防型デイサービスの玄関前にある花壇に、季節の花や植物を植えました。色とりどりの花に、「綺麗だね」「これは〇〇の花だね」と、楽しい会話が聞かれます。現在、予防型デイサービスのリニューアル真っ最中です。部屋の中はもちろんのこと、玄関からおしゃれな雰囲気を感じてもらい、快適な時間を過ごしていただければと思っています。



花の里
書道展



花の里では、毎年近所のショッピングセンターレイで書道クラブの作品を展示させてもらっています。今年も毎月の書道クラブで、講師の大場米子先生の指導のもと、展示する作品を少しずつ仕上げてきました。今年こそコロナの影響で、大人数で見に行くことができませんでしたが、その代わりに5月25日から1か月間展示させてもらえることになり、多くの方に見てもらえることができました。この展示をきっかけに、書道クラブへ参加してみようかなと言われる方もいらしたので、楽しみや良い話題になったようで良かったと思います。

ひまわり邸

屋台ラーメンひまわり亭

6月17日から3日間「屋台ラーメンひまわり亭」が開催されました。会場は中華料理屋のような匂いで「お腹がすくね」「楽しみなね」と皆さんウキウキされていました。醤油・豚骨・味噌の中から好きなスープを選んでいただき、具材をトッピング。「お待たせしました!」と元気な店員さんが運んでくれます。ミニチャーハン・餃子・フルーツ杏仁付きでボリューム満点でしたが、皆さんペロリと完食! 「美味しいね」と嬉しそうでした。



これからだんだん暑くなっています。しっかりと食べて、夏を乗り切りましょう!

養護首福寿園

ありがたやケーキ山ほどに誕生日



6月29日、桑原ハツエさんが百歳の誕生日を迎えられました。お気に入りのワンピースを着て、写真撮影です。

百歳にして記憶力抜群、俳句にも堪能な桑原さん。記念に俳句の作成をお願いしたところ、右記の微笑ましい俳句を作ってくださいました。そして、「梅雨ですから。」と作られた俳句が二つ。桑原さんの素敵な年齢の重ね方には、尊敬の念しかありません。

梅雨来るを
宝の雨と農家かな
紫陽花の
花に向かいてキスしたき

昭和の里デイサービス
マスク作り

「これぐらい簡単に縫えるよ!」昔はなんだって手で縫ったもんぞ」と、職員が見本として差し出したマスクを前に、威勢のいい声が聞こえてきました。初めは、目が悪い、手が効かない、糸を通せない等と乗り気でない方もいましたが、作り始めるうちに真剣な眼差し。普段のレクリエーションでは運動を取り入れたものが多かったため、ご利用者の皆さんがこんなにも真剣に裁縫と向き合う姿は、職員としても新たな発見となりました。コツコツと1か月間作り続け、およそ170枚のマスクができました。



クができてきました。「配るのがもったいない!」と、満足いく仕上がりとなりました。

武豊福寿園デイサービス
麻雀大会〜武豊杯〜

麻雀大会を開催しました。今回は利用者8名が参加され、日頃の腕前を発揮されました。参加者の内2名の方は、デイサービスに通うようになった方でしたが、経験者に対しては互角の勝負をされてみえました。相手との

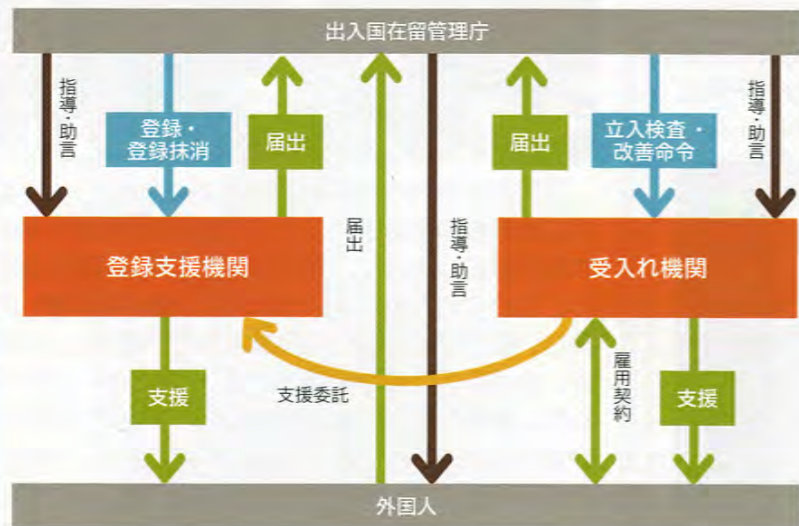


卓を囲み、熱戦を繰り広げた皆さんは、次回の開催をすでに楽しみにされています。

特定技能の登録支援機関に登録されました

2019年4月1日より、在留資格「特定技能」での新たな外国人材の受入れが可能となりました。特定技能は、介護分野においても深刻化する人手不足に

対応するため、専門性・技能を生かした業務に即戦力として従事する外国人を受け入れるために創設された新たな制度です。



そのなかで、外国人への支援を適切に実施するための仕組みとして、登録支援機関の登録申請をしておりましたが、この度、当法人のこれまでの外国人受入れの経験と実績が認められ、法務省・出入国在留管理庁より登録支援機関として正式に登録されました。



法人初となる特定技能での外国人介護士を受入れました

福寿園には、現在多くの外国人介護士が働いています。この度、新たな制度を受け、法人として初めてとなる「特定技能1号」の在留資格で、インドネシア人のファイザさんが就労を開始しました。法人との二人三脚で苦勞の末に手にしたピザの重みは、彼女への心強いエールとなりました。期待に胸を膨らませながら、「日本とインドネシアの懸け橋になれるよう、仕事も勉強も頑張ります！」と力強く語り、毎日笑顔で頑張っています。



名前 ファイザ クン アイダ
 配属 田原福寿園
 国籍 インドネシア
 好きな食べ物 とんこつラーメン
 趣味 料理（日本食は大好きなみそ汁に挑戦中）
 好きな言葉 夢

パート職員研修開催

5月下旬に各地区において1日ずつ新任のパート職員研修を開催し、全体で47名が参加しました。このプログラムも3年目を迎え、定期的な研修となっています。午前中は常務理事や施設部長の講義で法人の理念とサービス方針を、午後は各地区施設長の講義で職場のルールと心構えを学びます。研修を通じて、法人の理念や考え方に共感していただき、今後の自分の仕事の在り方を見つめ直す機会となりました。また、仕事に対する不安が解消されたという声もあり、今後につながる研修となりました。



「お口を開けてください」と毎週火曜日の午後、ユニットが小さな歯医者さんに早変わり。QCサークル活動を機に、協力医の花井歯科医院の先生と歯科衛生士による、虫歯の治療や入れ歯の調整、口腔ケアなどの往診が始まりました。お口の二大疾患である虫歯と歯周病の予防のため、正しいブラッシングを指導していただきありがとうございます。美味しく食事ができ、楽しく会話ができるよう、「お口から健康に」をモットーに、日々の歯磨きを行ってまいります！

お口から健康に

田原ゆの里



みなみ福寿園デイサービス 『South cafe』オープン!!

7月1日、デイサービスセンター内に利用者専用カフェがオープンしました！その名も「South cafe」。コンセプトは南国の海辺にあるカフェ。緑に囲まれ、たくさんの「夢・希望」の詰まった憩いの場となっています。コーヒー、紅茶はもちろん、健康志向のスペシャルドリンクなど、趣向を凝らしたメニューをご用意しております。今回、カフェのオープンにあたり、職員同士たくさん話し合い、試作、試食を行ってきました。この日を迎えたことを大変嬉しく思っています。「South cafe」で新しいデイサービスのスタイルをお楽しみください。

あじさいが届きました

渥美福寿園

5月中旬、地元のお付き合いもある岡田緑花さんより、色とりどりのあじさいの鉢植えが届きました。一言あじさいといっても色々な種類や形があり、名前も「コットンキャンディー」や「ダンスパーティー」など、おしゃれな名前がたくさんです。職員、入居者の皆さんも、見たことの無い形や色をみて、「私は



これが好き！」など会話にも花が咲いていました。せっかくのきれいな花を近くで見てもらえるように玄関に飾り、また居酒屋の行事でも、各テーブルに配置して楽しめました。

ケアハウスきぬうら 草取りいつもありがとう

入居されて2年ちよつとになる羽田さん、この暮らしにも慣れてき



た昨年度の秋頃から、敷地内の草を気にかけてくださり、毎日のように草取りをしてくれるようになりました。几帳面な羽田さんは、敷地の外回りに取ってくださいます。職員を悩ませていた中庭は坂になっており、どくだみの葉が生い茂っていましたが、コツコツと毎日進めてくださり、ヤツデの木の下はこんなにきれいになりました。羽田さん、草取りいつもありがとうございます。（職員一同より）

連載

ボランティアさんいつも ありがとうございます

日頃、施設でお世話になっています
ボランティアさんを紹介させていただきます。

みなみ福寿園 **華道クラブ**
講師代表 **松田秀華 先生**



みなみ福寿園では月に1回、景風流・松田秀華先生とそのお弟子さんたちをお迎えして華道クラブを開催しています。「どのくらいの長さに切りますか?」「このあたりに挿しましょうか?」など、思うようにハサミを使えない入居者の思いをくみ取りながら、一緒に花を生けていきます。それぞれの生け方でお花に表情が付き、きれいな花がよりきれいになっていくと入居者の顔も笑顔になり、人も花もイキイキしていきます。

お花で季節感を運んでくださる先生方に感謝しています。これからもよろしくお願ひ致します。



連載

福寿園では、現在63名のフィリピン人、7名のベトナム人介護士が10施設に分かれて働いています。毎月一人ずつ紹介します。

外国人介護士 リレーインタビュー

- Q なぜ日本に来ようと思われましたか?
- A 日本の文化・食物が大好きなのと、家族のためにお金を稼ぎに日本に来ました。
- Q 福寿園で働いてみてどうですか?
- A 楽しいけど、覚えることがいっぱいです。
- Q 日本に来て楽しかったところはどこですか?
- A 東京の渋谷です。
人が集まっていて、建物が全て綺麗でした。
- Q おススメのフィリピン料理は何ですか?
- A 「ピナッコベト」です。沢山の野菜を醤油で煮た料理です。私の生まれたところの一番有名な料理です。
- Q 好きな日本語は何ですか?
- A 「頑張ります」です。
- Q 今後の目標は何ですか?
- A 介護福祉士をとることです。
- Q 日本でずっと働きたいですか?
- A はい。家族も日本に呼んでずっと暮らしていきたいです。



アンドリーオン ジェニナ
アンジェリカ タヌラ
ニックネーム
ジェン
(田原福寿園)
国籍
フィリピン

New ひまわりギャラム

入居者・利用者さんの作品をご紹介します。

作品 **ハーバリウム**

田原ゆの里デイサービスご利用者
色鮮やかなドライフラワーを使って個性豊かな作品ができました。

交通安全ステッカー ~ゆっくり生きましょう~

福寿園ではデイサービス、ショートステイなどで150台以上の送迎車両が毎日運行しています。そのため、乗車しているご利用者の安全のために交通安全ステッカーを作成しました。お年寄りや車を模したカメが「ゆっくり生きましょう(行きましょう)」とメッセージを伝えます。ぜひ、街中で福寿園の送迎車両をご覧になりましたら注目してみてください。これからもご利用者の安全と地域の交通マナー向上に努めてまいります。



渥美半島のお花をいただきました!

5月下旬に愛知県農林水産事務所様を通じて、渥美半島の農家の皆様よりたくさんの素敵なお花をいただきました。ちょうどコロナウィルスの影響でご家族の面会も少ない中、施設内を彩るお花はお年寄りや職員の気持ちも和ませてくれます。中には、花びらを集めて花風呂を作った施設もあり、入居者の皆さんから「ありがとう」と口々にお礼の言葉をいただき、大変喜んでいただきました。

渥美半島の生花農家の皆様のご厚意に大変感謝いたします。



調理員基礎研修



田原福祉専門学校の調理室をお借りして、6月9日に調理員の初級研修を行い、厨房配属の新入職員11名が参加しました。福寿園の食の理念『福寿園食のこだわり七カ条』、出汁のとり方、調味料の使い方、美しい盛り付けについての講義を受けたあと、味噌汁、食材の切り方等を学び、盛りつけ実習も行いました。緑豊かな学び舎での研修は、学生さんの笑顔や挨拶に緊張もほぐれました。お昼ご飯は、田原ゆの里自慢のゆの里御膳を食べ、おもてなしの大切さも実感。帰る頃にはみな仲良く同期の絆を深めることができました。

令和2年度秋開講! 介護職員初任者研修 受講生募集!! (通学型 旧・ヘルパー2級養成講座)

ひまわりの街



介護ヘルパーの資格をとりませんか?
[講習期間] 令和2年9月2日~令和3年2月24日
 (月5回程度、水・土曜日全23回開講 計131時間)
[定員] 20名(応募多数の場合は抽選になります)
[受講会場] 特別養護老人ホームひまわりの街内 豊田市本町本竜48
[申込方法] 令和2年7月1日~8月31日までに所定の申込用紙によりご応募ください。ひまわりの街にて受付けます。
〈お問い合わせ・資料請求〉
 TEL 0565-51-0880 まずはこちらへ



第16回 最優秀賞受賞作品



第16回 理事長賞受賞作品

伝えたい、
思いやりの気持ち

[応募期間]

令和2年8月31日(月) [当日消印有効]

[応募資格]

福祉の心を伝えたいと思っている方なら
どなたでも結構です。(中学生以下は除きます)

[応募方法]

応募点数は1人1点まで。
所定の応募用紙(福寿園各施設に置いてあります)
または普通はがきサイズの用紙に作品を描いて下さい。
裏面に「氏名・年齢・住所・連絡先・タイトル・メッセージ」等
をご記入のうえ、作品送付先までお送りいただくか、
お近くの福寿園の施設までお持ち下さい。

[表彰・発表]

賞状および副賞を贈呈いたします。
令和3年11月に福寿園のホームページと「機関紙ひまわり」にて発表。
その後も優秀作品は施設内での展示やHP、機関紙にてご紹介いたします。

福祉(イメージ)に関する
絵手紙を募集します。

作品募集

第17回

福祉の 絵手紙

[注意事項]

- 作品はオリジナルおよび未発表のものに限ります。
- 応募作品はお返しいたしません。
- 作品の画材は何でも結構です。(パソコンは不可)
- 裏面に必要事項の記入がない場合は、無効となる場合があります。
- 著作権は主催者に帰属します。
- 個人情報は本作品展の運営に必要な範囲内で利用いたします。
応募者の同意なく利用目的を超えて利用することはありません。

[作品送付先]

〒441-3413 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3
福寿園 第17回「福祉の絵手紙」係まで

お問合わせ / 社会福祉法人 福寿園 TEL.0531-27-0008



令和2年7月10日発行

■発行 / 社会福祉法人 福寿園 愛知県田原市六連町神ノ釜9-3 ☎0531-27-0008
■理事長 / 山田浩三 <https://www.fukujuen.or.jp>

ISO9001 / 14001 認証取得 ※ひまわりは再生紙を使用しています。